

取組と目標に対する自己評価シート
高齢者の自立支援、介護予防又は重度化防止に関する取組と目標

年度	令和3年度
-----------	-------

前期（中間見直し）

実施内容

- ・ アクション90（第2層）開催数：7回
- ・ 認知症初期集中支援事業：支援会議 1回
- ・ 孫世代のための認知症講座（延人）：1回、参加者数 107人
- ・ 介護家族リフレッシュ教室（延人）：5回、参加者数 25人（うち11人ボランティア）

自己評価結果【〇】

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う岩手県独自の緊急事態宣言があり、会議の延期、事業の休止などの対応を取った。

- ・ 生活支援体制整備事業においてアクション90（第2層）を7回実施し、地域に必要な助け合いについての話し合いや、事業の進捗報告、中学生による「声かけ・見守り」を広げる標語コンクール投票などを行った。
- ・ 認知症初期集中支援事業は、月1回の支援会議を設けているが、随時電話にて相談しており、参集しての会議はその月によって判断している。（4月のみ開催）
- ・ 孫世代のための認知症講座は感染拡大前に1校で実施。これまでは県が取りまとめて医大に講師調整を行っていたが、感染拡大に伴い医大からの派遣が困難となったため、包括職員で対応。
- ・ 介護家族リフレッシュ教室では、介護者が固定化している傾向はあるが、認知症サポーターがボランティアとして参加しており、介護者の交流の機会になっている。認知症カフェとしても位置付けているが、認知症の方の参加はない。

課題と対応策

- ・ アクション90（第2層）は参加する住民から意見を聞きながら開催調整をしている。感染状況により集まることを控えた場合でも戸別訪問等で対応する。
- ・ 認知症初期集中支援事業は医療機関の体制にもよるため、支援会議は状況に応じて調整する。
- ・ 認知症サポーター養成講座、介護リフレッシュ教室等は感染対策を取りながら実施する予定だが、感染拡大の際は、公共施設が使用禁止になることもあるので、その都度対応する。

後期（実績評価）

実施内容

自己評価結果

課題と対応策

取組と目標に対する自己評価シート
高齢者の自立支援、介護予防又は重度化防止に関する取組と目標

年度	令和3年度
----	-------

前期（中間見直し）

実施内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・通所型サービスA 延 368 人 ・訪問型サービスC 延 6 人 ・通所型介護予防教室 延 68 人 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防地区自主活動団体数 12 団体 ・介護予防ボランティア活動者数 実 85 人 ・地域リハビリテーション活動支援 5 団体
自己評価結果【○】	
<p>宮古管内での新型コロナウイルス感染症の発生や岩手県緊急事態宣言が発令されたことに伴い、一部事業を縮小して実施しているが、通所型介護予防教室は、シルバーリハビリ体操指導者に協力してもらい昨年度延 13 人に対し今年度は 68 人と約 5 倍に増加している。</p>	
課題と対応策	
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数が少ない訪問型サービスCを始め、各種事業のPRを広報にて実施した。 ・岩手県緊急事態宣言により集会所が閉鎖となり、通いの場が休止となったため、フレイル予防のリーフレットを全戸配布し、活動再開後は、通いの場へ感染対策の徹底について講話を実施中。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により外出自粛に伴う心身機能の低下が危惧されるため、今後も感染対策を徹底して、各種事業の継続を図る。 	

後期（実績評価）

実施内容	
自己評価結果	
課題と対応策	

取組と目標に対する自己評価シート
介護給付の適正化に関する取組と目標

年度	令和3年度
----	-------

前期（中間見直し）

実施内容
①要介護認定の適正化 ・認定調査内容の点検を継続実施 ②ケアプランの点検 ・点検を実施中 ③住宅改修・福祉用具購入・貸与調査 ・それぞれの点検を継続実施 ④介護給付費通知 ・前期に通知を1回実施 ・後期にも通知を1回実施予定であり目標値の達成を図る ⑤縦覧点検・医療情報との突合 ・点検を継続実施
自己評価結果【○】
概ね計画通り実施できている。
課題と対応策
計画に沿って取り組んでいるが、本取組に基づくより適正な介護保険事業の運用となるよう体制づくりを検討していく必要がある。

後期（実績評価）

実施内容
自己評価結果
課題と対応策